

発行所
山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17

横芝

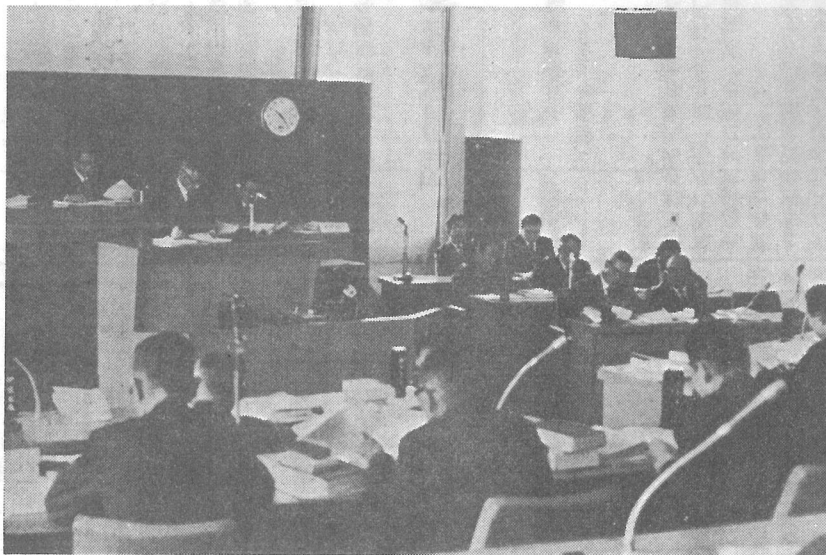
広報

横芝町の人口と世帯

< 2月28日 現在 >

| | |
|-----|--------------|
| 人口 | 12,677 (+13) |
| 男 | 6,112 (+15) |
| 女 | 6,565 (- 2) |
| 世帯数 | 3,090 (+ 6) |

() 内は前月比



新年度予算総額 八億八千万円に決る

明るく住みよい豊かな町に

昭和四十八年度横芝町一般会計及び特別会計予算は、三月十二日から開かれた定例会(会期十四日)に上程され町営住宅設置及び管理条例改正の一部修正議決があったほかは、それぞれ原案どおり可決されました。

会計別予算(単位千円)
一般会計 七〇八、〇〇〇
国保会計 一四五、一七〇
有線会計 一九、九八五
保養センター会計九、八六三

なお、この議会で伊東町長は、次のような新年度予算の編成方針を述べております。「間もなく新年度を迎えるに当りまして、いささか施政の方針を開陳いたします。皆さまのご指導とご協力を切に

主な建設事業に二億三千万円

お願いする次第でございます。私は町政執行の基本的な構えといたしまして、急ピッチで動きつつある社会情勢と、町のあるべき姿を洞察して、常に町民の声を反映した町政を行いたいと考えております。この基本的な心構えの上に立って、私の考えている横芝町は、ありふれた言葉ではあります。住みよい町、豊かな町、住みよい町であります。さて、こうした基本的理念の下に、横芝町の現状を見たとき、途遙かに遠しの感を抱かざるを得ません。この遠い途を一步一步前進するための施策を講じ、且つ実行して行くことが、私の使命であると考えております。こうした使命感に立って、この理想に達

するために、私は三つの重点目標を設定しております。
一、福祉横芝の開発
一、産業横芝の開発
一、教育横芝の開発
この三大目標に向って進むためには、予算の裏付けなくしては不可能であります。ところが町の財源には限度があります。そこに町政執行者としての痛切な悩みがあります。目標は大きい予算は極めて小さい、百里の途も一步からのたえのとおり、予算は少くとも許される範囲内において、一步でも半歩でも前進しなければなりません。こうした考えの下に編成したのが、四十八年度予算であります。なお、主な建設事業は次のとおりです。

共同利用施設建設事業
空港騒音対策事業の一環として、公民館大総分館を取りこわしその跡地に鉄筋コンクリート建五百平方メートル(約百五十坪)の施設を建設するもので、建設費六千五百二十万六千円が計上されました。
青年館建設事業
青年館の建設は、既に十七館を数えるに至りましたが、本年度は寺方、取立の二部落に建設が予定され予算額六百十二万一千円が計上されました。
大総保育所建設事業
空港騒音対策事業の一環として、現大総保育所を取りこ

わしその跡地に二百五十二平方メートル(約七十六坪)の防音保育所を建設するもので、予算額二千五百九十九万八千円が計上されました。
町道舗装及排水事業
町の重点施策の一環である町道の改良舗装工事は、広域市町村圏計画の幹線道路を優先的にとりあげ、本年度はさらに舗装二十ヶ所、延九千六百六十メートルを事業費四千万円をもって改良舗装を計画、その他町道排水整備事業に二百万円、県道改良及び排水事業に六百十四万一千円の予算が計上されました。

公営住宅建設事業
住宅対策として、本年度新たに上町地先字大島(横芝小学校西側)に第二種簡易耐火構造平家二十戸の建設を予定、予算額二千五百八十一万六千円が計上されました。
横芝小体育館建設事業
横芝小学校体育館の老朽化が甚しいため、新たに鉄骨造り一千平方メートル(約三百三十坪)の体育館を建設するもので、予算額四千六百六十一万二千円が計上されました。
なお、予算の内容分析や財政状況については、次号で報告いたします。